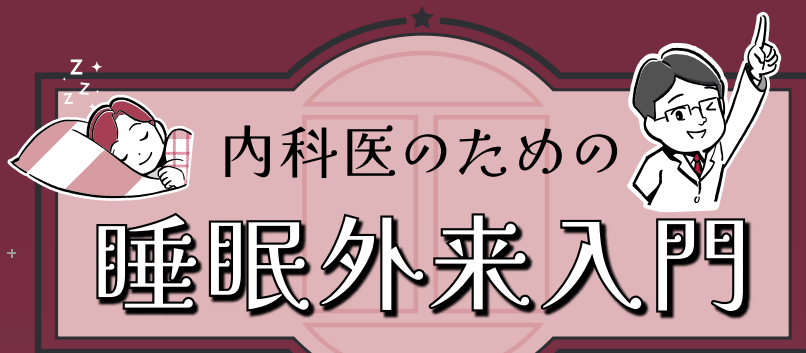




連載開始にあたって

睡眠に関わる悩みを抱えている方は多く、不眠症や睡眠時無呼吸症の潜在患者さんは非常に多いと思われます。しかしながら、患者さん側の悩みとして、「どこに相談してよいかわからない」「精神科はちょっとハードルが……」という声も聞きます。「かかりつけの内科で睡眠の悩みも診療してもらいたい」というのが多くの患者さんの本音なのかもしれません。そこで対応しなければならないのは総合病院や開業のクリニックの医師(大部分は内科医)になっているのが現状かと思います。

ところが私を含めた内科医のなかで、睡眠診療についての十分な教育を受けたことがある医師はそう多くはないのではないのでしょうか。私は12年ほど前、前任者の異動のために睡眠時無呼吸症を中心とした「睡眠外来」を担当するようになりました。それまでは閉塞性睡眠時無呼吸をたまに担当する程度で、専門に勉強をしたわけではありません。その後、多くの先生、多くの症例に教えてもらいつつ、やっと睡眠診療の入口に立ったくらいだと思っています。

本連載は「一般内科医が睡眠関連疾患について概要を把握し、患者さんの相談に乗ってあげられるようになること」、加えて「どのような状態なら専門医に紹介すべきかを把握できるようになること」を目標にしています。私自身も学びの過程にあるため初学者向けの内容となりますが、本連載を通じて先生方の睡眠診療の知識の整理に役立つことができれば嬉しく思います。なお、本連載に出てくる登場人物・症例は架空のものであり、実在のものとは関係ありませんが、私の個人的な意見を言わせるために立石医師という人物を登場させています。実物とはかけ離れた設定になるかもしれませんがご容赦ください。

立石知也